



2021年2月12日

各 位

会 社 名：北海道中央バス株式会社
代表者名：取締役社長 二階堂 恭仁
(コード番号 9085 札幌証券取引所)
問 合 せ 先：取 締 役 大 森 正 昭
専務執行役員
TEL 0134-24-1111

観光事業推進本部（仮称）の新設及び連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年4月1日をもって、グループ観光事業の組織運営体制を見直すこととし、観光事業推進本部（仮称）の新設及び当社の連結子会社である株式会社シービーツアーズの吸収合併を決議しましたので、お知らせいたします。

なお、本合併は、連結子会社を対象とする簡易吸収合併であるため、開示項目・内容を一部省略して開示しております。

記

1. グループ観光事業の組織運営体制の見直しの目的

現在、グループの観光事業（バス事業（乗合・貸切）、旅行事業、ホテル事業、スキー場事業、物販事業等）は、100年に一度と言われるコロナ禍により甚大な影響を受けています。この立て直しには、改めて、変化する国内外の観光に関する動向について広く情報を収集し、的確にビジネスに反映できる体制を整え、事業の再生・推進・拡大を図っていく必要があると考えております。

そこで、この度、ポストコロナ禍におけるグループ観光事業の中・長期の事業戦略を練る組織として、経営トップの指揮の下、一定の権限と責任を有する『観光事業推進本部（仮称）』を司令塔として当社内に新設し、グループ観光事業の組織運営体制の再構築をする予定としております。

そうした中、この度、コロナ禍で甚大な影響を受け、先々の経営見通しが大変難しい状況にある(株)シービーツアーズを当社で吸収合併をすることとしました。

グループ観光事業の組織運営体制の見直し（「観光事業推進本部（仮称）の新設」及び「当社による(株)シービーツアーズの吸収合併」）の概要は、以下のとおりであります。

2. 観光事業推進本部の新設

(1) 組織の概要

グループ観光事業全体の再生・推進・強化を図る組織、ポストコロナ禍におけるグループ観光事業の中・長期の事業戦略を練る組織として『観光事業推進本部』を当社内に新設する予定です。

(2) 組織の体系

観光事業推進本部の下部組織に『シービーツアーズカンパニー』を設置し、これまで(株)シービーツアーズで催行しておりました「北海道遺産の旅」や「産業遺産の旅」等の地域振興に係る主催旅行を当カンパニーで引継ぎ、新たな商品開発に努める等、強化を図ってまいります。

(3) 改編日

2021年4月1日(予定)

3. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併契約承認取締役会	2021年2月12日
合併契約締結	2021年2月12日
合併期日(効力発生日)	2021年4月1日

(注) 本合併は、当社においては会社法第796条第2項に規定する簡易合併であり、(株)シービーツアーズにおいては会社法第784条第1項に規定する略式合併であるため、合併契約承認の株主総会は開催いたしません。

(2) 合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、(株)シービーツアーズは本合併により解散いたします。

(3) 旅行事業の取り扱い

- ・ (株)シービーツアーズで催行しておりました「北海道遺産の旅」や「産業遺産の旅」等の地域振興に係る主催旅行は、前述のとおり、当社内に新設する観光事業推進本部の下部組織『シービーツアーズカンパニー』で引き継ぐ予定です。
- ・ その他手配旅行業務は2021年3月末をもって廃止いたします。

(4) 合併に係る割当ての内容

本合併による株式の割当てその他の対価の支払いはありません。

(5) 合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

4. 合併当事会社の概要（2020年9月30日現在）

	存続会社	消滅会社
(1) 名称	北海道中央バス株式会社	株式会社シービーツアーズ
(2) 所在地	小樽市色内1丁目8番6号	札幌市中央区大通東1丁目3番地
(3) 代表者	取締役社長 二階堂 恭仁	取締役社長 戎谷 侑男
(4) 事業内容	旅客自動車運送事業、不動産事業、その他事業（飲食業・ホテル業・公衆浴場業）	旅行業
(5) 資本金	21億円	1千万円
(6) 設立年月日	昭和19年1月27日	平成2年11月2日
(7) 発行済株式数	3,146,000株	1,500株
(8) 決算期	3月31日	3月31日
(9) 大株主及び持分比率	中央バス総業株式会社 37.02% 株式会社北洋銀行 4.96% 株式会社北海道銀行 4.96%	北海道中央バス株式会社 100%
(10) 直前事業年度（2020年3月期）の財政状態及び経営成績		
純資産	(連結) 31,061百万円	(個別) 16百万円
総資産	(連結) 41,365百万円	(個別) 126百万円
1株当たり純資産	(連結) 11,716円59銭	(個別) 10,720円06銭
売上高	(連結) 38,094百万円	(個別) 712百万円
営業利益又は営業損失(▲)	(連結) 1,044百万円	(個別) ▲28百万円
経常利益又は経常損失(▲)	(連結) 1,215百万円	(個別) ▲27百万円
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(▲)	(連結) 220百万円	(個別) ▲28百万円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(▲)	(連結) 84円08銭	(個別) ▲18,837円85銭

5. 合併後の当社の状況

本合併による当社の名称、所在地、代表者、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。

6. 今後の見通し

本合併は、当社の連結子会社との合併であるため、当社の連結業績に与える影響は軽微です。

以 上